

～夏休みはチャンス～

高専に入学して以来、高校に入学した同年代の友人とは異なり、身近に受験戦争を意識することはなく、5年間または5年半のパスポートをもって一心不乱に勉学や課外活動に打ち込む。5年の先には就職や大学、専攻科を経て学士、大学院への途も拓かれている。学校、教職員一同はこの環境を不断に整備充実させ学生諸賢に十分に利活用してほしいと願っています。夏休みを前にあらためていくつか記させていただきます。

・立志で能力Up

いつもの流れで受けた授業や実習、何気なく見た YOUTUBE に感動し、将来のなりたい自分をあらためて決意、それは志をもつことであり、人それぞれが個性としてもつ遺伝子にスイッチがはいること*。スイッチがはいると間違いなく見違えるように動きが変わります。そういう事例を多く経験しています。志をもたずあきらめてはいけません。

・思いやりや慈愛を

周りへの思いやりや慈愛、これらは他人の顔色をみて、他人の思惑を気にしながら集団の中で埋没することとは全く違います。慈愛と思いやりの行動は、脳内物質、いわゆる神経伝達物質のメカニズムをはたらかせて喜びや幸福感を覚え、性格も明るくなるといいます。さらには、脳の活性化、集中力の向上につながるともいわれています。

立志と思いやりは、本校の教育理念の進取・礼譲・質実剛健につながり、教育目標の1番目、「人間性豊かな教養人となること」の豊かな人間性につながります。

夏休みは日頃の勉強が不足しがちな教科を見直し、次段の海技士国家試験や英語技能の検定試験、情報分野にかかる技術（セキュリティマネジメント、ITパスポート）、危険物取扱などの資格試験の勉強に集中するチャンスでもありますが、同時に学生自身が、自己を見直し、想いをめぐらし、志をかため、また周りとの絆を深めていくチャンスです。保護者各位におかれましても、温かく見守り、ご助言をいただきますようお願い申し上げます。

本年度からは、3年生の学生も、選挙権を有し、親の同意を得ずに契約を結べる年齢となっていくます。学校教育全体の活動を通じて、学生諸賢が自己探求と自己実現に努め、社会の一員としての自覚の醸成に至る段階を十分認識して、主体的な判断のもとに行動し、自立（自律）した人間として他者と協働できるよう、鳥羽商船高専における5年間を通じてそれぞれの学生が、何よりもよりよく生きる基盤を確固とし、次のステージに向かえるよう努めてまいります。

最後に、新型コロナウイルス感染症から自らを守り、他人を守る、いつでもどこでも誰とでも人との間隔、手洗い・消毒、換気を忘れずに！！

(*）村上和雄（筑波大学名誉教授）著

「スイッチオンの生き方」